

とっとり産業フェスティバル2009 ポスター発表要旨

テーマ	鳥取砂丘・浦富海岸の総合資料の収集整理とその活用 - 「山陰海岸ジオパーク」設立に向けた鳥取砂丘・浦富海岸の資料 -
発表者	小玉芳敬 鳥取大学地域学部地域環境学科 准教授
概要	山陰海岸ジオパークの西部に位置する鳥取砂丘と浦富海岸に関して、教育への具体的な活用方法を研究した結果、小・中・高の教員が手軽に使用できる「野外学習ハンドブック」の準備が不可欠であるとの結論に至った。教師のための「山陰海岸ジオパーク」野外学習ハンドブック試案が作成され、また鳥取大学附属中学校において3年生を対象に鳥取砂丘を扱った全3時間の研究授業を実施した。これらに関して研究会で検討を重ねた。

【目的】 鳥取大学で実施されてきた研究成果を踏まえて、鳥取砂丘を中心題材として、教育への具体的な活用方法を検討し、第1歩の働きかけを実施すること。

【方法】 現職大学教員(4名)・現職中学校教諭(2名)・鳥取大学名誉教授(2名)から構成される研究会を7回開催し、教材化に向けたbrain stormingを重ねた。

【まとめ】 研究会における検討の結果、小・中・高の教員が手軽に使用できる「野外学習ハンドブック」の準備が不可欠であるとの結論に至った。毎年行われる砂丘への遠足において、現地に出かけた利点をいかした教育はほとんど実施されていない現状を改善する必要がある。教員が参考にできる資料があれば、現地における野外学習の指導が可能となり、児童生徒の「郷土愛」や「地元の誇り」を育むことにつながる。これは鳥取県としても大きな財産となる。

本研究では、鳥取大学附属中学校において3年生を対象に鳥取砂丘を扱った全3時間の研究授業を9回実施した(安藤和也教諭担当)。また教師のための「山陰海岸ジオパーク」野外学習ハンドブック試案が作成された(図1)。このようなハンドブックを充実させてWeb公開することは、世界ジオパーク認定に向けた教育面での活用実績にもつながる。



図1 山陰海岸ジオパーク「野外学習ハンドブック」(鳥取版)の試案一例

【来場者へのメッセージ】

山陰海岸ジオパークの西端に位置する「鳥取砂丘や浦富海岸」のことを、どれほどご存じでしょうか？ これまで遠足などで訪れた際に、現地で鳥取砂丘や浦富海岸のことを学ぶ機会がありましたか？

現状を少しでも改善したいですね。

連絡先: 鳥取大学地域学部地域環境学科 准教授 小玉 芳敬

鳥取市湖山町南4 - 101 TEL. 0857 - 31 - 5088 E-mail: kodama@rstu.jp

分野	環境教育	プレゼンタイム	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
----	------	---------	--